

第15回東京圏国家戦略特別区域会議  
東京都提出資料

# 特区を活用した都市公園内の保育所設置の推進

○今回提案の荒川区立宮前公園・品川区立しながわ区民公園における活用で、東京都内の特区活用定員は約800人

○今後とも、1000人以上を目指して、関係自治体との調整を進めていく方針

## <荒川区 区立宮前公園における特例活用について>



### 施設概要

所在地：荒川区立宮前公園内  
 実施主体：荒川区  
 整備施設：児童福祉法第39条第1項に基づく保育所  
 定員：160人程度(予定)  
 開設日：平成30年4月1日(予定)  
 占有面積：約800㎡

小台橋保育園  
 (現行定員159人)の建替え時に仮移転  
 (建替え終了後)  
 ↓  
 西尾久保育園  
 (現行定員72人)を移転・定員拡大

○待機児童解消に向けた  
 保育定員の拡大  
 ○老朽化した2つの保育園の更新

今回の特例活用内容は、今後、「荒川モデル」として全国的に発信すべき

## <品川区 区立しながわ区民公園における特例活用について>



定員92人(予定)  
 0~5歳児の保育園

### <イメージパース>



### 施設概要

所在地：品川区立しながわ区民公園内  
 実施主体：株式会社サクセスアカデミー  
 整備施設：児童福祉法第39条第1項に基づく保育所  
 定員：92人(予定)  
 開設日：平成30年4月1日(予定)  
 占有面積：約500㎡

・品川区では、緊急課題である待機児童対策に取り組み、平成22年度から平成28年度までに4,463人の受入れ枠の拡大を図ってきたが、就学前人口と保育所等への入園申込者数の増加により、平成28年4月現在の待機児童数は178人(前年同期215人)となっている。

・区では引き続き増大する保育需要に対応するため、国家戦略特別区域制度を活用し、勝島3丁目の区立しながわ区民公園内において、公園占用により、定員92人の認可保育所を整備する。

# 特区を活用した創業支援の強化

## (1) 東京開業ワンストップセンターサテライトセンターの設置について

- 東京開業ワンストップセンターの大幅な利用者増を図る観点から、平成29年4月1日に渋谷ヒカリエ横にサテライトセンターを設置する。

### サテライトセンターの概要

- 今後、渋谷サテライトセンターにおいては、以下のサービスを実施
  - ・テレビ電話を通じた起業に係る行政手続の相談・受付支援サービス
  - ・申請用パソコンを整備し、その場でのオンライン申請サービス
  - ・中小企業診断士等の専門家によるサポートサービス
  - ・東京圏雇用労働相談センターの出張相談サービス

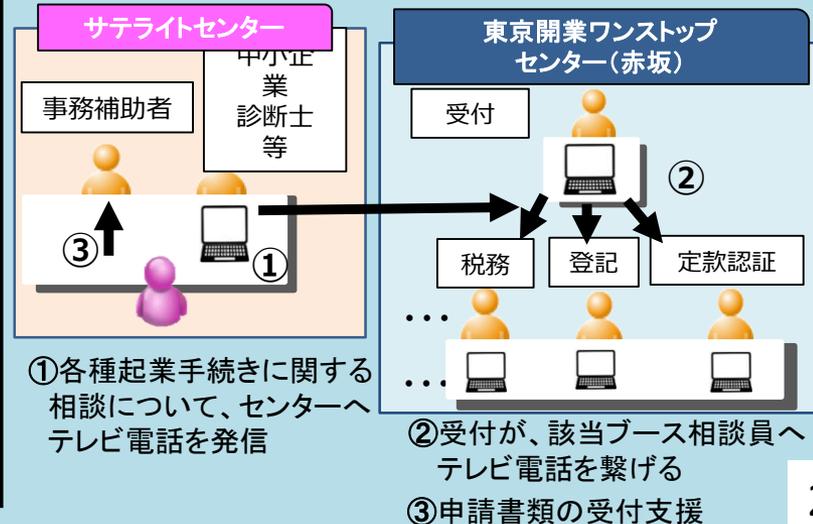
<所在地>  
渋谷区渋谷二丁目 渋谷駅より徒歩2分



建物外観



アクセス図



## (2) 特区税制を活用した外国企業向けインキュベーションオフィスの整備促進

- 国外の優れた技術やアイデアを持った起業家やスタートアップ企業を惹きつけるためには、その受け皿となりうるオフィス整備が必要
- ⇒ 設備投資に係る減税により、共用のラウンジや貸会議室を備えた質の高いインキュベーションオフィスの整備を促進

### 【虎ノ門一丁目地区】 (森ビル㈱)

(国家戦略特区:都市計画法特例PJ(H27.6認定))

- 虎ノ門・赤坂・六本木エリアにて実施してきたビジネスマッチングや起業・成長支援などの取組をさらに拡充・発展
- スモールオフィスを約20室、コアワーキングスペースを約700㎡を整備
- 教育プログラムや、常駐ビジネスコンシェルジュの導入により、成長ステージに併せた支援に取り組む。



共用会議室・ラウンジイメージ

### 【新橋四丁目地区】 (森ビル㈱) (大林新星和不動産㈱)

- 外国人企業家の受け皿となるような小規模なオフィス区画や共用会議室を備えたインキュベーションオフィスの設置
- 企業の事業拡大・経営管理を支援すべく、入居企業のビジネス支援をタイムリーに実施





# 都市再生プロジェクトの追加

○ 今回28プロジェクトに新宿、池袋、赤坂、羽田空港地区において、4プロジェクトを追加提案

これまで**28**プロジェクト  **32**プロジェクトへ **全体で約11兆円の経済波及効果**

## 【歌舞伎町一丁目地区】

(株)東急レクリエーション、東京急行電鉄(株)

- ミラノ座跡地等において公共空間との一体的整備によるエンターテインメント拠点の創出
- 都市観光の拠点形成に資する宿泊施設の整備



## 【赤坂二丁目地区】 (森トラスト(株))

- 国際水準の滞在機能を中心とした観光支援施設の整備
- 訪日外国人のための歴史文化発信施設の整備



## 【南池袋二丁目C地区】

(南池袋二丁目C地区市街地再開発準備組合、住友不動産(株)、野村不動産(株)、UR都市機構)

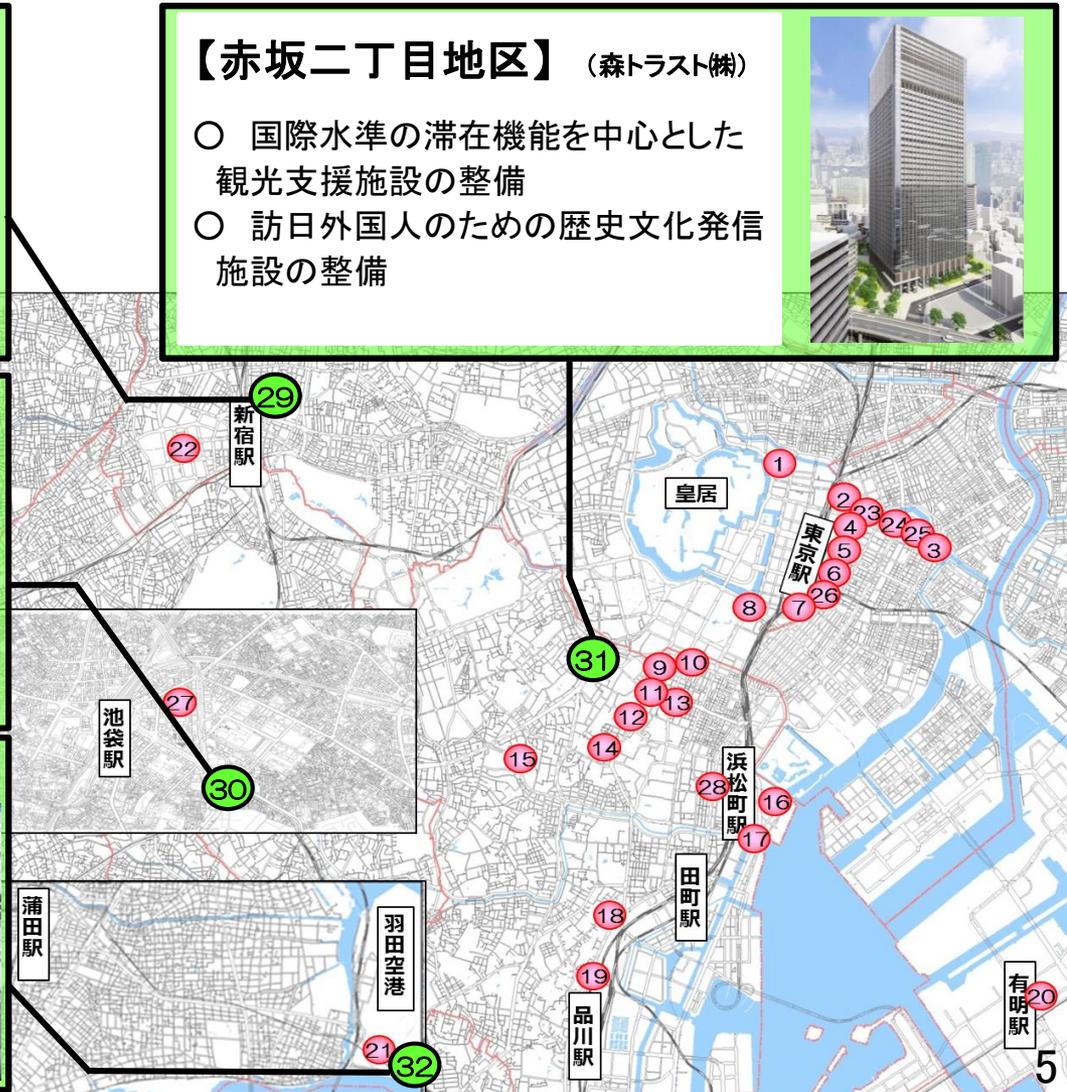
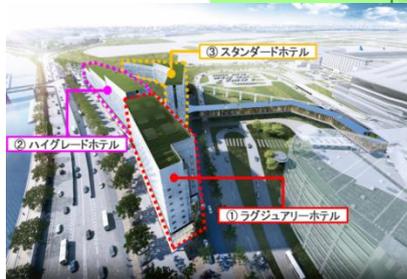
- 雑司が谷や豊島新庁舎等との連続する緑のネットワークを形成
- 賑わい・交流機能、子育て・高齢者施設の導入及び高質な都心居住環境の整備



## 【東京国際空港第2ゾーン地区】

(住友不動産(株))

- 国際拠点に求められる宿泊施設・多目的ホール・会議室の整備
- 旅客の利便性向上に寄与するバスターミナル駐車場の整備



# 羽田空港周辺地域等における自動走行システムの実証実験の推進

東京都は今後、政府で検討が進められている「**規制の砂場、サンドボックス特区**」を活用して、**羽田空港周辺地域等**においてレベル4を見据えた**最先端の自動走行の実証実験**にスピーディに取り組む。

これらの取組を強力に推進するため、東京圏国家戦略特別区域会議に、自治体（東京都・大田区等）、関係省庁（内閣府・総務省・経済産業省・国土交通省等）、民間事業者等が一堂に会した「**東京都自動走行サンドボックス分科会**」の設置を提案

## 参考：羽田空港周辺地域

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、我が国の最先端技術を国内外に発信するショーケースを構築するとともに、2020年以降のレガシーとしていく。



# 選択的介護（混合介護）の提案

## □ 介護保険サービスと保険外サービスの同時・一体的提供

例) 訪問介護サービス提供時に同居家族分の調理、洗濯などを一緒に実施

【現行の仕組み】

介護給付45分 + 保険外45分 = 90分



【目指す方向性】

介護給付 + 保険外 = 60分程度



利用者分の調理・提供 家族分の調理・提供

まとめて調理・提供（家族分の費用は按分）

（期待される効果）

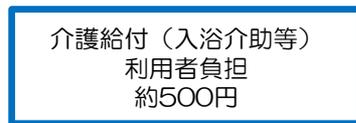
- ・ヘルパーの業務時間短縮
- ・介護家族の負担軽減

## □ 介護保険サービスに付加価値をつけた部分への料金設定

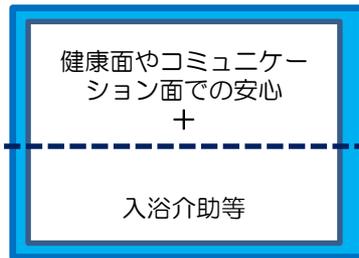
例) 健康づくりに資する資格・技能、外国語や方言等の技能を有するヘルパーの指定料

【目指す方向性】

【現行の仕組み】



特別なヘルパーの指定→



（期待される効果）

- ・高齢者・家族の不安解消
- ・多様なニーズへの対応



例) 繁忙期の上乗せ料金、閑散期の割引料金

（期待される効果）・介護スタッフの確保と処遇改善・時間帯に応じた柔軟な料金設定

※ 保険外自費額等は、民間自費サービスの価格等を参考にしています。

⇒ 豊島区と連携して、平成30年度から実施するモデル事業の準備を行い、特区認定が得られ次第、順次実施し、効果及び問題点を検証

### 《 留意事項 》

- 📌 利用者の自由な選択と自己決定を担保する利用者保護の仕組みが必要
- 📌 上乗せ料金等が、介護職員の処遇改善に確実に繋がる仕組みが必要
- 📌 上乗せ料金等の負担が困難な低所得者への配慮が必要

など